

水素燃料電池自動車の試乗会が行われました

日光水素エネルギー社会促進協議会では、環境に優しい次世代のエネルギーである「水素エネルギー」の普及・活用を目指して活動しています。この一環として10月7日(土)には、所野で開催された日光けつこうフェスティバルの会場で、水素燃料自動車の試乗会を行いました。

水素燃料電池自動車は、ガソリンや軽油などの化石燃料を燃やして走る従来の自動車と比べて、クリーンで騒音も少なく、次世代の自動車として期待されています。

今回は、国内外のメーカーが開発した自動車5台・バス1台と水素ステーション車の展示・試乗会が行われました。試乗者からは「排気ガスが臭わないし静かですね。こんな車が早く日光を走るようになるといいですね」などの声が寄せられていました。



次世代の車である水素燃料電池自動車。当日は122名の試乗者を乗せて走りました。



試乗の様子。興味深そうにメーターパネルを見えています。



愛・地球博でも活躍した燃料電池バス。143名の方が試乗しました。



自動車に水素を供給する水素ステーション車

パロマ工業(株)製のガス瞬間湯沸器をご利用の方へ

パロマ工業(株)が昭和55年から平成元年7月の間に製造した瞬間湯沸器で、排気ファンの作動不良による一酸化炭素中毒事故の発生が確認されています。

東京ガス(株)の[※]OEM商品を含むパロマ工業(株)製の瞬間湯沸器をご利用の方は、製品の品番を確認し、下の一覧表の型式に該当する場合は、右の相談窓口までご連絡ください。

※OEM商品…製造元とは異なる企業のブランド名で販売される商品のこと。

相談窓口

◆パロマ工業(株)

☎ 0120-314-552

〈フリーダイヤル、24時間受付〉

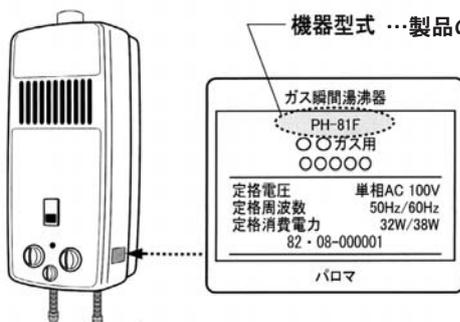
◆東京ガス(株)【東京ガス(株)OEM商品】

☎ 0120-600-446

〈フリーダイヤル、受付時間:午前9時~午後5時〉

◆関東東北産業保安監督部保安課

☎ 048-600-0294



該当製品の機器型式一覧 ※下記型式末尾()を含む

PH-81F、PH-82F、PH-101F、PH-102F、
PH-131F、PH-132F、PH-161F、
【東京ガスOEM商品】PA-108FE、PA-113FE